



ダイオーズ<4653>、国内投資ファンドのインテグラルと組んでMBOで株式を非公開化



ダイオーズは1日、国内投資ファンドのインテグラル（東京都千代田区）と組んでMBO（経営陣による買収）で株式を非公開化すると発表した。ダイオーズ創業家の資産管理会社などの保有分を除く54%あまりの株式取得を目指す。買付代金は最大約110億円。ダイオーズはオフィスコーヒーサービス大手。海外売上高比率が47%と5割に迫る中、グローバルガバナンス体制の再構築や事業構造改革を迅速・機動的に進めるためには非公開化が望ましいと判断した。

TOB主体はインテグラル傘下のボイジャー（東京都千代田区）。買付価格は1株につき1500円で、TOB公表前日の終値1363円に10.05%のプレミアムを加えた。買付予定数は735万4794株。大久保真一会長ら創業家の資産管理会社が保有する全株式（41.64%）と大久保氏個人が保有する株式の一部（3.63%）の合計45.27%分はTOBに応募しない。

買付予定数の下限は所有割合21.39%にあたる287万5181株で、不応募株式と合わせて所有割合が3分の2超にあたる水準に設定。買付期間は9月2日～10月18日。決済の開始日は10月25日。公開買付代理人は大和証券。

ダイオーズの前身は1969年に大久保氏が「有限会社米屋おくぼ」として設立。米穀販売に加え、新規事業としてオフィスで手軽に本格的なレギュラーコーヒーが飲める本場米国のオフィスコーヒーサービスを国内に導入し、1976年にダイオーを設立。1983年に現在のダイオーズに社名を変更した。ジャスダック市場、東証2部を経て2007年に東証1部に昇格（2022年4月に東証プライム市場に移行）。